

裏磐梯の絶滅危惧種 花

1. 目的

昨年調査した絶滅危惧のオサバグサ、オキナグサ、トキソウ、ミヤケランとセイタカスズムシソウの調査及びサンリンソウを調査する。

2. 結果

下記に示す調査対象種（地点）については、前年に比べて大きな変化はなかった。

トキソウ群落が秋元湖付近で見つかりました。季節が少し遅かったので今年調査に入る予定です。サンリンソウ群落の所で工事による踏み荒らしを発見、対策して頂きました。

3・考察

生育にマイナスの要因と思われるもの

- 1) 自然の遷移による
- 2) 園芸の為の採取
- 3) 湿原の開発
- 4) 森林の伐採
- 5) 気候の変化

裏磐梯では主なる原因は1)、2)、3)、5)などが考えられる。

4・対策

- 1) 環境省などが保護に力を入れてもらう。そして盗掘の取り締まりをする。
- 2) 民間の自然ガイドなどを監視員に委嘱し、巡視の協力をしてもらう。
- 3) 当該地点については特定の監視員等のみが把握し、一般への公表は控える。
- 4) 子供達に生物の多様性の大切さを教える。

以上のような点をふまえて、早急なる保護対策が必要と思われる。

5・概要

平成26年5月27日

平成26年6月 4日

平成26年6月 9日

平成26年6月22日

平成26年7月15日

平成26年7月21日

調査者 友坂 豊

調査項目及び結果 以下に示す